

わかさスタジアム
京都での

「京都アストドリームスホームスタジアム体験」

皆さんは、今年の夏に開催された女子野球ワールドカップで日本代表チームが見事に優勝し、大会史上初の3連覇を達成したことを知っていますか？私たちのまち京都の女子プロ野球チーム「京都アストドリームス」の選手も大活躍でした。

今熱くて元気な女子プロ野球！10月14日に、わかさスタジアム京都で行われた京都アストドリームス対兵庫スイングスマイリーズの試合に4名のジュニア京都観光大使が訪れました。

この日試合が行われたのは西京極総合運動公園にある「わかさスタジアム京都」。阪神タイガース対オリックス・バファローズのファーム戦も行われた大きな球場です。日本女子プロ野球機構の市村友希さんの案内で、普段は入ることのできないスタジアム内部を見学させていただきました。全身が映る鏡のある素振り練習場、マウンドやピッチャーがよく見えるカメラマン室の他、審判室、記録室、放送室などを見学しました。それぞれの部屋では、多くのスタッフの方々がてきぱきと準備をされていました。

会場の入口でも、公式グッズやお弁当の販売、入場ゲートのセッティングなど、お客様をお迎えする準備が進んでいました。一つの試合が行われるには多くのスタッフの



方々の支えがあることを大使たちは改めて感じることができました。大使たちも、グッズやお弁当の販売のお手伝いをさせていただき、入場ゲートで会場に来られたお客様を心を込めてお迎えました。

いよいよ試合が始まります。試合前に行われた応援練習のイベントに大使も参加しました。選手やDJの方と一緒にグラウンドに立ち、音楽に合わせてステップを踏み、会場を盛り上げました。大使は「緊張したけど楽しかった」と話し、

観客の方と心を一つにして応援する楽しさを感じたようでした。



兵庫スイングスマイリーズの先攻でプレイボール。大使たちは場内アナウンスも体験しました。「2回裏 京都アストドリームスの攻撃は 5番 レフト 三佳 大倉 背番号10」と大使の声が球場内に響きます。緊張した様子でしたが、ゆっくりと大きな声でアナウンスすることができました。この日の試合は両チームとも全力で戦い、1対1の引き分けで終了しました。

今期の女子プロ野球は、「京都アストドリームス」「大阪レイビーハニーズ」「兵庫スイングスマイリーズ」の3チームにより熱戦が繰り広げられました。京都アストドリームスは総合優勝を賭けた決定戦に挑みましたが、残念ながら惜敗し、大阪レイビーハニーズの総合優勝で幕を閉じました。次のシーズンは4月から始まる予定です。皆さんもぜひ球場に足を運んで、京都アストドリームスを応援してください！

かわばた ゆき

川端友紀選手へのインタビュー

Q.野球を始めたきっかけは何ですか？

A.父と兄も野球をしていたので自分も興味を持ちました。

Q.試合前に気をつけていることはありますか？

A.まずは食事は消化にいいものを食べ、脂っこいものは避ける・早く寝るなどの基本的なことです。そして、グラウンドの状況や天気でも試合の条件は変わるので気をつけています。

Q.楽しいこと、大変なことは何ですか？

A.試合に勝った時はうれしいです。今期は残念ながら総合優勝を逃しましたが、来期は頑張ります。練習はしんどいときもありますが、自分が成長するために、つらいけど楽しんでいます。

Q.好きな京都の観光地はどこですか？

A.たくさんありますが、一番は清水寺です。

Q.京都の子どもたちにメッセージをお願いします。

A.大好きな京都で大好きな野球をさせてもらっています。みんなも一緒に頑張ってください！

一つ一つの質問に、笑顔で丁寧に答えてくださいました。今後のご活躍を期待しています。



川端友紀 選手

ワールドカップにも出場した京都アストドリームスの中心選手。右投左打の内野手。背番号23。兄はプロ野球 東京ヤクルトスワローズの川端慎吾内野手。